

労働災害の約8割は、停車時に発生

停車中の危険は、すぐ側に

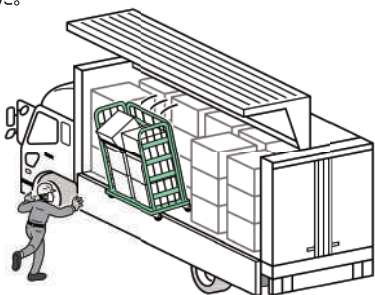
トラックからロールボックスパレットの落下事故編

労働災害は、いつ発生するか分かりません。しかし、事前の対策によりその多くは防止できるでしょう。今回は、荷降ろし中にロールボックスパレットが荷台から落ちてきそうになった災害例および、その対策を紹介します。

災害例

トラックからロールボックスパレットが落下

作業者は荷降ろしのため、敷地内でトラックのウイングとあおりを開けた。その際、ロールボックスパレット(約300kg)が動き出し、トラックの荷台から落下しそうになった。



原因

- トラックへの積載物の積み方が適正でなかったため、車両の重心が左側に偏っていた
- ロールボックスパレットのストッパーがかかっていなかった

対策

- ロールボックスパレットには、重心が偏らないように荷物を積載する
- トラック荷台に載せたロールボックスパレットには、必ずストッパーをかける
- 現場管理者は荷役作業において、荷台の上での作業や、ロールボックスパレットを使用する場合は、作業者に保護帽を着用させる

ロールボックスパレットの基本的な積み方をマスターし、荷崩れを防ぎましょう

ロールボックスパレットへの荷物の積載時

これは守って！

- ロールボックスパレットの最大積載量を確認
- 安全のため、重いものは下部に、軽いものは上部に積載
- 大小の積み荷がある場合は中間棚を使用 など

これは禁止！

- 最大積載量を超えた積載
- ロールボックスパレットからはみ出した積載
- 側面パネルに立てかける積載
- 側面パネルを圧迫するような積載
- ロールボックスパレット本体や中間棚のピンが変形したまま使用

